【第2回】知多半島における在宅医療BCPおよびACP勉強会

災害時にも、地域の医療をつなぐために

災害時の在宅医療継続に向け、地域で支える仕組みを考えます

【 PROGRAM 】

参 加 無 料

第1部｜ケーススタディ

知多半島の在宅診療所BCP事例紹介・検討会

知多半島の在宅診療所におけるBCP事例を取り上げ、厚生労働省の在宅医療BCP研修で講師を務める瀬島先生とともに課題や改善のポイントを考えます。

第2部｜講演会

機関型BCPの限界と連携型BCPの可能性

～令和6年能登半島地震被災地における地域医療の継続をどう支えるか～

大規模災害時には、一医療機関だけでは対応しきれない課題があります。令和6年能登半島地震での経験をもとに、地域医療を継続するための「連携型BCP」の実践と可能性について、瀬島先生にご講演いただきます。

日 時 2026年12月 3日(木)
19時30分 ～ 20時45分
＜ 受付開始：19時～＞

場 所 国立長寿医療研究センター
教育研修棟 1階 大研修室

申 込 み 【定員100名】

・QRコードよりお申込み →

・FAXよりお申込みの方は、
下記の参加申込書にご記入のうえ
送信願います。

講師　瀬島 照弘 先生
（小木クリニック　院長）
出身　京都府
平成6年4月 金沢医科大学一般消化器外科入局
恵寿総合病院外科胃腸科、
公立宇出津総合病院外科、
医療法人社団和泉会佐原病院に勤務
平成26年10月 小木クリニック開業

【お問合せ】
国立長寿医療研究センター
緩和ケア診療部 / 在宅医療推進室
TEL　0562-46-5270（平日9時～16時）
FAX　0562-46-5280
E-mail　z_renkei@ncgg.go.jp

参 加 申 込 書　　FAX：0562-46-5268

国立長寿医療研究センター　在宅医療・地域医療連携推進部　宛て

所属先名	
参加者氏名	職種
E-mail	